

避難所運営ゲーム（HUG）

避難者カードを実際の要援護者に見立て、それぞれの抱える状況に配慮しながら、生活空間を確保し、適切に避難所内へ配置する運営者の立場を体験する。

活動のねらい

- ・避難所運営を模擬体験することで、災害や避難者の状況を主体的に考える。
- ・防災について考える機会とする。

活動可能人数	100人程度	活動・季節条件	通年
所要時間	2時間程度	主な対象	中学生以上
実施場所	研修室	グループの人数	6人程度
活動形態	指導依頼活動（指導員の説明、指導が入る）		

活動内容

(1) 会場の準備

- ・机、椅子 ・色ペン ・避難所見取り図 各種 ・付箋 ・A4コピー用紙 ・セロテープ

(2) 避難所について、ゲームの進め方についての説明（30分程度）

(3) ゲーム（休憩をはさんで40～50分程度）

- ・1グループに読み上げ係（生徒または引率者）1名が必要。
- ・引率者は、2～3グループを巡回し、支援を行うとよい。

(4) 避難者への対応について交流する。（20分）

(5) 体験の感想を交流する。後片付けをする。（20分程度）



準備物

野外活動センターで準備するもの

避難所運営ゲームのカード 色ペン

利用者または団体で準備するもの

- ・想定避難場所の見取り図（A1サイズ）グループ数
※自分たちの学校の体育館（避難場所）の見取り図をA1サイズ（A3を4枚貼り合わせたサイズ）でグループ数分作成してください。野外活動センターホームページで、作成用エクセルデータがダウンロードできます。ご利用ください。
- ・校舎内見取り図（A3サイズ）グループ数 ※教室等の配置がわかるもの
- ・敷地内見取り図（A3サイズ）グループ数 ※校庭や校舎、体育館の位置関係がわかるもの
- ・コピー用紙（A4サイズ白紙20枚×グループ数）
- ・付箋（7.5cm×7.5cm 1束×グループ数）
- ・セロテープ（グループ数）

指導上の留意点

- ・研修室A、研修室Bそれぞれ8グループまで実施可能です。
- ・1グループに必ず1人読み上げ係（生徒または引率者）を事前に決めてください。

備考

- ・準備物などについては、ご相談ください。